公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アソベル久能			
○保護者評価実施期間	R8年 7月 29日	～	R8年 8月 11日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	21	（回答者数）	14
○従業者評価実施期間	R8年 7月 29日	～	R8年 8月 11日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 8月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い学年、学校の児童と交流する機会がある	現在小学１年生～高校３年生までの児童が所属している。集団活動を通して、様々な学校の児童や異年齢の児童とのよりよい関わり方を学ぶことができるよう支援している。	日々の自然な関わりの中での学びだけでなく、学年や特性に合わせてリーダーなどの役割を任せる活動を増やしていく。
2	室内活動、屋外活動、外出支援など、様々な形態の活動を行っている	室内でのレクリエーションや創作活動、事業所の敷地内での運動遊び、公園や公共施設での外出活動など、幅広い活動を行っている。	一つ一つの活動をさらに充実させたり、新しい活動を取り入れたりしていく。
3	自立を重視した支援を行っている	日常の動作や体験活動などを通じ、子どもたちが自分の力でできることを増やし将来に向けて自立ができるよう、必要に応じた見守りや最小限の手助け、環境の整備などを行っている。	子どもたちの成長段階に応じてどのような支援が適切かを職員間で話し合い、ご家庭とも連携しながらよりよい支援に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちの特性や興味の幅が広く、全員の希望に合わせた活動が難しいことがある	支援における人数や時間、環境設備に限りがある。	プログラムの偏りが無いよう工夫し、それぞれの児童が楽しめる活動を提供していく。
2			
3			